

令和2年度（第32期）

事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日



[この写真](#) の作成者 不明な作成者 は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

一般財団法人 付知町振興公社

令和2年度（第32期）事業報告の概要

平成2年の裏木曾花街道センターの開業後、約30年が経過し30周年記念式典を計画するなか世界的なコロナウイルス感染症のパンデミックが起これ、日本においても令和2年5月、及び令和3年1月に緊急事態宣言が発令されインバウンドはもとより国内観光客が激減しこの地方においても大打撃となった。

花街道においても2度に渡る閉鎖と温泉ともども時短営業を余儀なくされることとなりました。（花街道売店で約44日、食堂で53日間の閉鎖、時短は令和3年3月1日までのべ244時間、温泉においては閉鎖が33日（豪雨・落雷による閉鎖を含める）、時短はのべ182時間に及んだ。）令和2年度に予定されていた30周年記念イベントはもとより、イベント広場、温泉を始め町内の恒例イベントはすべて中止になった。

また、最初の宣言解除後も6月から8月まで及んだ長雨と豪雨による41号線の崩落などの被害で下呂・高山への観光客がなくなるなど更なる追い打ちを受けることとなった。ローソンにおいても売り上げが大きく落ちこんだ。

そんな中で閉鎖期間中職員による発案から食堂内および入り口付近の壁の塗り替え、売店の棚替え、東京付知会を通じての通販などの試みをすすめ、今年に入ってからオンラインショップの開設に繋がった。食堂においては、秋のさるまい定食の復活を始め、テイクアウトメニューを始めた。また新駅長が10月に就任しソーシャルネットワークによる情報発信と宣伝広告、研修室でのインスタライブ配信を実験的に進めている。今後こうした媒体をフルに活用し実店舗だけにとどまらず情報発信をつづけ今後の売り上げ増大に活用したい。

またローソンは、令和3年2月1日より深夜営業を停止し、朝5時から夜11時の営業に転換した。